

グアテマラ通信



青年海外協力隊

シニア海外ボランティア

日系社会青年ボランティア

日系社会シニア・ボランティア

平成26年度第4次隊

氏名：菅野 ひかる

職種：感染症・エイズ対策

派遣国：グアテマラ共和国

グアテマラの小学校

グアテマラの公立学校は午前の部と午後の部に分かれており、生徒も教員もすべてが入れ替わるシステムになっています。午前と午後で仕事を掛け持つ教員たちの中には、午前の部では小学校の校長として、午後には中学校のクラス担任として勤務する人、反対に午前の部で小学校のクラス担任として、午後には中学校の校長として勤務する人がいて、日本とは異なるシステムに驚きを感じます。

また、学校に時計がなくチャイムが手動で鳴らされることは、日本の一般的な学校との違いのひとつです。グアテマラ人の時間に対する感覚の緩やかさに対して、日本人の時間に対する几帳面さを思うとき、校内の至る所に時計が設置され、チャイムが時間で自動設定されている日本の学校の環境が、日本人の時間に対する感覚の形成に大きく関わっているのだと感じます。



小学校の仮装大会



休憩時間の先生たち

グアテマラのトイレ事情

グアテマラのトイレは水圧が弱く、紙を流すことができないので、トイレの脇には必ずごみ箱が備え付けられています。また、レバーをひねって水がちゃんと流れるトイレばかりではありません。その場合は、ドラム缶や大きな水槽に溜めてある水を手桶で汲んで流します。

市内の集落の全校生徒19人の小学校では、トイレの設置工事が途中で放置されてトイレが使えないため、学校裏の茂みで用を足したり、学校近くに住む生徒は家に戻ったりするそうです。

温度調節のできる便座にシャワートイレ、プライベートの保たれた空間、日本ほどトイレの快適さにこだわった国はなかなかないのかもしれない。



便座のないトイレ



設置工事途中のトイレ